

町財政再建の第一歩にするため、議会として初めて予算への修正動議を提出し、予算修正を行いました。その内容は下記のとおりです。

## 《2021年度池田町一般会計予算への修正動議》 (賛成多数で可決 薄井賛成討論)

- ①町財政の再建を行うには2021年度予算から思い切った経費の削減が求められる。
- ②移住定住補助金は補助単価が50万円と他の補助金と比べ高く、補助単価を10万円にすれば2,160万円の経費が削減できる。  
先ず、財政再建を行い、暮らしやすい町にしていくことが移住定住の推進につながる。
- ③ハーブガーデン足湯の費用対効果が低いことから管理委託費153万円を削減する。
- ④ハーブガーデンの土壌改良や苗代に使う原材料費300万円は付近一帯の将来ビジョンに基づき実施すべきなので削除する。
- ⑤上記②～④の削除総額2,613万円を予備費に上乘せる。
- ⑥予備費は議会議決がなければ歳出できない。予算残額は次年度の財源や償還金返済の財源となり、財政再建に役立つ。

- ◎2021年度池田町一般会計予算の修正動議を除いた予算(賛成多数で可決、薄井賛成討論)
- 財政再建にむけ、歳出を大幅に削減した。総額は前年度8.8%減の44億8,800万円とした。福祉や防災などの減額は抑えた。
- 新規事業
  - ・池田小学校の多目的トイレ新設(182万円)
  - ・行財政改革推進委員会経費(34万円、10回)
- ◎2020年度池田町一般会計補正予算の訂正議案(全議員の賛成で可決)
- ハーブセンターのガラス温室工事費(211.6万円)などについて町から訂正請求があり、訂正案を可決した
- ◎町財政の危機を招いた責任として議員報酬を10%削減する発議(全議員の賛成で可決)
- ◎町財政の危機を招いた責任として特別職の給料を削減する議案(賛成多数で可決)
- 町長30%・副町長20%・教育長13%の削減
- ◎財政再建策を検討する「町行財政改革推進委員会」を設置する議案(全議員の賛成で可決)
- 委員(10人以内)構成:議員1人以内、議会の推薦する者1人以内、識見を有する者2人以内、各種団体が推薦する者3人以内、公募による町民3人以内、町長が必要と認める者
- 委員会は町長に意見述べることができる。

## 《私の一般質問と町の回答》

1. 松本盆地の地下水保全に向け、町からアルプス地下水保全対策協議会に、「地下水揚水の規制」の提言を。町長は安曇野市長と地下水対策で話し合いを。  
答: 話題として出していく。安曇野市長と意見交換をし、保全対策を検討していく。
2. 旧上原商店の跡地利用を。  
答: 現在、引合いがある。決まり次第報告する。
3. コロナ禍あけに向け、町にあった方法でレンタルサイクルによる観光施策の準備を。  
答: 関係者で協議し、準備していく。
4. 町行財政改革推進協議会は町民の意見も聴き検討を。又、町行財政改革の進捗状況の検討も。  
答: そのような方向で実施していく。



写真 今冬枯れた安曇野市 田淵行男記念館の湧水池 (2021年3月19日撮影)  
建物1階前の湧水池は例年冬でも10cm程度の水深であった。今冬、湧水が枯渇し、池底が露出した。

## 今月の短歌

長き冬耐えた梅花を見るにつけ  
コロナ明け世の平穩祈る